

光の森の丘通信

令和7年度 上半期号(第45号)

発行・編集 光の森の丘広報委員会

特別養護老人ホーム 光の森の丘

デイサービスセンター 光の森の丘

〒963-0666 福島県郡山市安原町字谷津 171-1

TEL:024-956-6800 FAX:024-956-6300

E-mail:hikarinomorinooka@feel.ocn.ne.jp

ホームページ URL: <https://hikarino-mori.jp/>

令和7年 10月 1日発行

開設20周年を迎えました



地域の皆様はじめ、多くの方々に支えられ、9月2日に開設20周年を迎えることができました。皆様には心より感謝申し上げます。「光の森の丘」は、入所者お一人おひとりの人間性を尊重し、そのらしさを大切にする時間と空間を持ち、移りゆく季節を楽しみながら、生きがいのある生活を送ることのできる施設を目指し、「ケアビレッジ光の森」の3つ目の施設として開設いたしました。やっと成人式を迎えたような感慨深いものがあります。そして、本日から新たな気持ちでご利用者お一人おひとりが居場所のある生活ができるよう、多くの方々にご協力をいただきながら、職員一同努力して参ります。

最後に、理念に基づき、より良い介護を提供しようと真摯に取り組んできた多くの職員の皆さん（光の森の丘を卒業された方も含めて）に改めて感謝いたします。

施設長 桜井 茂子（写真左から4番目）

当施設が開所してから20周年を迎えました。立ち上げから今に至るまで、多くの利用者様との出会いを通じて、様々な経験をすることができました。入職当時から利用者様との関わりを通してお一人おひとりの考えや気持ちを知ること、小さな変化にも気づき相手の心に寄り添うことを大切にしてきました。現在も利用者様の立場に立って考えられる職員でありたいと思っています。これからも利用者様が「光の森の丘」で過ごすことができると良かったと思えるような施設にしていきたいと思っております。

介護主任 近藤 綾（写真左から5番目）

あかしやユニット

あかしやユニットでは、基本方針の一つである、「季節感に溢れ、生きがいのある楽しい生活が過ごせるようつとめる」をもとに、少しでも季節感を感じてもらえるようにしています。毎月の担当者が利用者様と一緒に折り紙を折ったり、塗り絵や花紙を作ったりして、壁紙制作を行なっています。また、今年も高齢者作品展に向けて作品を制作中です。何ができるかはお楽しみに！



ぶなユニット

ぶなユニットでは、レクリエーションに力を入れています。個人レクや集団レク等、お一人おひとりに合わせたものになっています。特に人気なのが風船バレーとしりとりです。利用者様の様々な一面に触れることができ、嬉しく思っています。これからも皆様が楽しみを持って、ここにいて幸せだと思って頂けるよう、ユニット全体で盛り上げて行きたいと思えます。



↑風船バレーの前はみんなで体操をします。
←ホワイトボードにてしりとりをしています。
レクの時間は皆様の笑顔が絶えません！

しらかぼユニット

しらかぼユニットでは、毎年中庭のテラスで作物を育てています。これまでミニトマトやきゅうりなど同じ物を育ててきましたが、今年はイチゴを植えてみました。初めてでしたが、赤々として甘みのあるイチゴが育ち、利用者様も「甘くて美味しい！」と大変喜ばれておりました。今後も皆様が美味しく召し上がれるもので、新しい作物作りにチャレンジしていきたいと思ひます。



立派に育ったね！



七夕飾り制作では、皆様の願い事を短冊にしたため、天まで届く事を祈って笹の葉に飾りつけをしました。利用者様にも飾りつけのお手伝いをしていただき、素敵な七夕飾りが完成しました。

デイサービス 光の森の丘

デイサービスでは、6月に三春方面への外出ツアーを行ないました。車窓からの景色も楽しみながら、紫陽花を見に行ってきました。鮮やかな青色の紫陽花が綺麗に咲き誇り、皆様の笑顔も満開でした。



今年もジャガイモ掘りに挑戦しました！小ぶりなジャガイモの収穫でしたが、「味噌汁にしたら美味しそうだね」とリクエストがありました。掘りたての新ジャガイモの味噌汁作りにも皆様と一緒に楽しみたいと思ひます。

光の森の丘 食事への取り組み

これまで当施設の管理栄養士は一人でしたが、令和7年4月より高島管理栄養士と山浦管理栄養士の二人体制になりました。

専門的な視点から、より一層利用者様の栄養管理に力を入れています。

当施設では、行事の時以外にも麺類や丼ものを提供したり、その方の好みを考慮したお食事を提供しています。食事から季節を感じて頂けるよう、多職種で連携をしながら、日々、食事に向き合っています。

特に利用者様から好評なのが、『セレクトメニュー』です。定期的開催され、「味ご飯かパン」「味ご飯か麺類」のように、二つの選択肢を利用者様に選んでいただくものになっています。真剣に悩まれる方、迷わず選ばれる方など、選び方は様々。その方が自分自身で選択する事を大切にしています。



☆管理栄養士のお二人からコメントをいただきました☆

利用者様との日々のふれあいの中で、「今日のご飯とても美味しかったよ」「〇〇が食べたいな」等、様々なお声を頂戴します。それらのご意見を活かし、利用者様が日々の生活を笑顔で、より元気に過ごすことができるよう、お食事面からサポートさせて頂いております。

高島 沙貴

セレクトメニューを通して、利用者様に「食べたい方を選ぶ楽しさ」を感じていただき、楽しそうに選ばれている利用者様を見てとても嬉しい気持ちになりました。今後も安全で美味しいお食事を提供し、お食事が日々の楽しみになって頂けるよう、利用者様を栄養の面からサポートしていきたいと思っております。

山浦 真弓

広報委員

岡部 弘美	伊藤 彩羅
高橋 理沙	遠藤 香
小椋 勝紀	田中 さない
佐藤 珠美	菊地 美穂
木原 瑞希	

編集後記

上半期は全国的な猛暑や気候の変動等がありましたが、利用者様の為にできる事を模索しながら、日々のレクリエーションや行事に取り組んで参りました。

下半期も秋祭りなど、楽しい行事が盛り沢山！職員一同、張り切って準備を進めております。

次号もどうぞお楽しみに♪